



青 於

11月号



交通安全教室 (10/21)

芳賀管内では毎年20人以上の小中学生が交通事故に遭っていて、そのほとんどが自転車に乗っているときに起こっています。そして、その原因の中で最も多いのが、「飛び出し」と「左右の確認をしない」ことです。本校ではそのような事故は起こっていませんが、注意喚起のため、4年ぶりに「自転車シミュレーター」(道路で起こるさまざまな交通状況を映像で再現し、疑似体験をしながら交通规则を実践的に学習できる装置)による安全教室を行いました。



今年は、5月下旬の猛暑により、植付の作業を中止しました。北陵高校の生徒の皆さんに、愛情を込めて植付や管理をしてもらったおかげで、今年も大きなさつまいも(紅はるか)の収穫ができました。北陵高校の先生方や生徒の皆さんに、感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

さつまいも掘り (10/21)



3年社会科見学 (10/24)

始めに、歴史資料保存館に行き、展示されている民具や農具を見たり、触れたりしました。次に、真岡市立図書館に行き、図書館についての説明を聞いたり、自分の読みたい本を借りる体験をしたりしました。市民会館付近の芝生で弁当を食べた後、フードオアシスオオタニに行き、販売の様子や働く人を観察しました。また、家で頼まれたものを買いました。

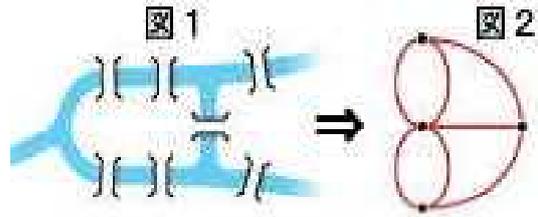


2年SL体験 (10/25)

SLに乗車する時間まで、真岡駅4階にある情報センターとSLキューロク館(9600形蒸気機関車が展示されていることから名付けた)を見学しました。ハロウィン仕様のSLに乗って茂木駅まで行きましたが、雨のため、SLをバックに記念撮影をしたり、公園で遊んだりできませんでした。お弁当は、道の駅もてぎに隣接する茂木町防災館で食べました。

朝会の話(11/5)「ケーニヒスベルクの橋」

18世紀の初め、プロシアのケーニヒスベルク（現ロシアのカリーニングラード）を流れるプレーゲル川には、図1のように7つの橋がかかっていました。「同じ橋を2度渡らず、7つの橋をすべて渡って、元の場所にもどれるか」ということが議論になり、スイスの数学者オイラーが、そのような経路は存在しないことを証明しました。この問題を、図2のように数学化すると「一筆書き」ができるかどうか、という問題となります。「一筆書き」ができるための条件は、次の2つです。(1) すべての頂点に集まる辺の数が偶数の場合。(2) 集まる辺の数が奇数の頂点が2つと、それ以外の頂点に集まる辺の数が偶数の場合。(図2のことをグラフ、グラフの点を頂点、頂点を結ぶ線を辺とよぶ) 詳しい説明はしませんが、その2つしかできない理由を考えてみてください。



5年エコアクションスクール (10/29,11/12)

総合的な学習で、「環境」について学習している5年生が、講師の方をお招きして、「生物多様性(毎日の暮らしに必要な生きものからの恵み)を守るために、自分たちができること」と「3R(ゴミを減らす、使えるものは繰り返し使う、再利用する)」について、学習しました。



午前中、第一給食センター

1年生活科見学 (10/30)

に行き、給食がどのように作られているのを見学したり、給食センターで使われている調理道具に触れて、その大きさや重さを体感したりしました。午後は、根本山にある自然観察センターに行き、センター周辺を散策をしながら、落ち葉やドングリを拾いました。センターに戻ってから、拾ったドングリでやじろべえやコマを作りました。

薬物乱用防止教室 (10/30)

5・6年生が、学級活動の時間に、県警の方と真岡警察署の署員の方をお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。映像や展示物を見ることで、シンナーや覚醒剤などの薬物乱用防止に関する正しい知識を理解できました。



宇大農場に梨狩りに行きました。「にっこり」という品種で、子どもたちの頭と同じぐらい大きいものもありました。とても甘くおいしい梨でした。保護者の皆さま、ご協力ありがとうございました。

1・2年校外学習 (11/7)

